

こどもの国リニューアル基本構想

令和 5 年 3 月

敦 賀 市

(1) 現況と課題

敦賀市では、子育て環境の充実を目指して、「キッズパークつるが」、「多世代型ウェルネス広場」を整備しています。その第3弾として、「敦賀市こどもの国」の既存施設や遊具を有効活用しながら新たな機能などを追加することを検討しています。



子育て環境の充実を目指した3つの施設整備 位置図

特徴	・敦賀の自然をテーマに、未就学児、小学生を含む子育て世代が、あそびとまなびを体験できる施設
利用形態	屋内施設
施設構成	・「野原」「山」「海」の3エリア 【主な遊具など】 ・スーパーコクーン（5階建てネット遊具） ・ちゃれんじウォール ・シューティングプール ・よちよちはらっぱ など
開業日	2017年3月26日

「キッズパークつるが」概要

特徴	・幼児から高齢者まで幅広い世代が楽しみながら体力・健康作りができる広場
利用形態	屋外施設
施設構成	・対象年齢別に3つのゾーン すくすくゾーン（0～3歳） わくわくゾーン（3～6歳） のびのびゾーン（6～12歳） ・親子で一緒に遊べるチャレンジゾーン ・子どもからお年寄りまで楽しめるウォーキングコース など
開業日	2022年10月8日

「多世代型ウェルネス広場」概要

「敦賀市こどもの国」は、児童文化センター、児童センター、児童遊園の3施設で構成されており、昭和55年に開設され、平成25、26年度に内装改修や、屋外遊具、プラネタリウム機器等の入れ替えを行っています。また、当施設は、『児童の健全なあそび場で、集いやまなび、交流を通して文化に親しみ余暇を楽しむ場所』であり、プラネタリウムや天体観測室、陶芸窯を備えるなど近隣市町の施設にはない特徴を持っており、多くの市民や子どもたちにとって、学習体験、子どものあそび場、親子の触れ合いの場となっています。

そのため、さらなる機能の充実や老朽化した部分の改修、誰もが利用しやすい快適な空間の創出等が課題となっています。



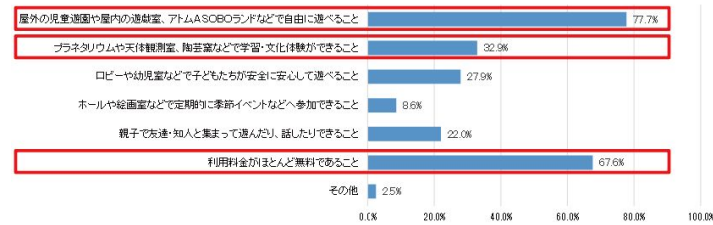
敦賀市こどもの国 位置図

(2) 市民や利用者のニーズ調査

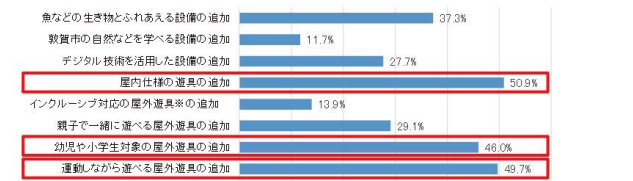
「敦賀市こどもの国」に対する市民や利用者のニーズを把握するためアンケートを実施し、その結果、「自由に遊べること」や「利用料金がほとんど無料であること」を利用する理由として挙げており、「アトムASOBOランド」や「屋外の児童遊園」に対する改善のニーズが高いこと、「屋内仕様の遊具の追加」や「魚などの生き物とふれあえる設備の追加」が求められていることが分かりました。

【調査期間】
令和4年12月26日（月）～令和5年1月13日（金）

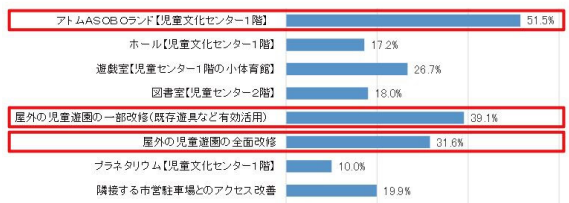
【調査対象者】
・小学校および未就学児の保護者
・小学校、保育園、幼稚園の関係者
・敦賀市こどもの国利用者



利用する理由



必要な遊具や設備



改善してほしいところ

「敦賀市こどもの国」ニーズ調査結果

(3) リニューアルに関するワークショップ

リニューアル内容検討の参考とするため、子育て世代や市内保育園及び小学校などの関係者を対象にワークショップを実施し、参加者からは、「魚や海を体感でき、敦賀の良さを感じられる場所にしてほしい」、「いつでも子どもたちが屋内・屋外で全身を使ってあそべるようにしてほしい」、「親が子どもを見守りやすい空間にしてほしい」などの意見が出ました。

【開催日時】
令和5年2月19日（日）10:00～11:30

【開催場所】
敦賀市こどもの国 1階ホール

【参加者】
・子育て世代
・市内保育園、小学校関係者 計23人

【主な意見】

- リニューアルコンセプトについて
 - ・親も子どもと一緒にあそび、楽しめる場所
 - ・自然や生き物に触れ、敦賀の良さを感じられる場所
 - ・いつでも子どもたちが全身を使って、中でも外でもあそぶことができる場所
- 屋内施設のリニューアルについて
 - ・魚や海を体感できる最新技術+本物の生き物を見れるアクアリウム
 - ・小さな子どもが多く利用するので、靴の脱ぎ履きが少なく済むような空間にしてほしい
 - ・知育をテーマにあそびとまなびができる空間にしてはどうか
 - ・アトムASOBOランドは古くて暗い印象なので、改善すべき
- 屋外施設のリニューアルについて
 - ・小さい子も楽しめる遊具がほしい
 - ・いろんな年代の子どもがあそべる遊具があると良い
 - ・アスレチック系の大型遊具を増やしても良いのではないかと
 - ・親が見守りやすい空間（日陰や椅子、雨除け）がほしい
 - ・子どもが使える屋外トイレや手洗いスペースがあるとより安心してあそべる空間になる



ワークショップの様子

(4) リニューアルの基本方針

課題やニーズを踏まえ、「敦賀市こどもの国」では敦賀市民をはじめ、どなたでも親子で楽しめる利用しやすいインクルーシブの考え方を取り入れるとともに、隣接する気比の松原をはじめとする自然豊かなロケーションを活かした海の生き物を展示するなど、「親子」と「敦賀の自然」をテーマにこどもの国をリニューアルします。

基本方針：あそびの中でこどもの心と身体を育む空間

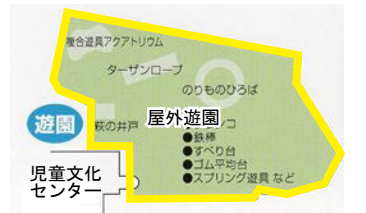
テーマ①：みんなで一緒にあそべる・・・「親子と一緒に」「インクルーシブ」

テーマ②：どんな時でも満喫できる・・・「天気を気にせず立ち寄れる屋内外の遊具」

テーマ③：敦賀の自然を体感できる・・・「海に近いロケーション」「生き物コーナー」

(5) リニューアル検討エリア

リニューアルは、ニーズ調査で改善のニーズが高かった「アトムASOBOランド」や「屋外の児童遊園」について、新たなあそび機能の充実を図ります。また、利用者すべてが使う玄関やロビー等について、インクルーシブの視点も含めて必要な改善を行います。



(6) 「屋内プレイエリア」リニューアル

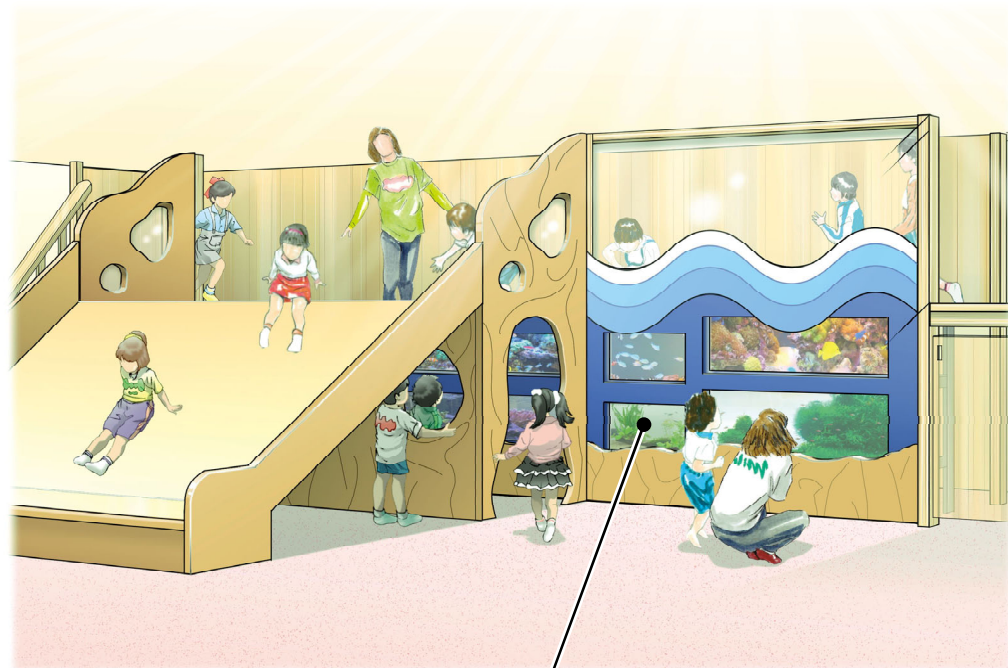
◆「屋内プレイエリア」整備コンセプト

～敦賀を感じられるあそびとまなびの空間づくり～

◆整備の考え方

- ・遊具や映像を使った様々なあそびを体験できるエリアとします。
- ・年齢に合わせて誰もが楽しめるエリアとします。
- ・海の生き物など自然を体感することができるエリアとします。

図 水槽や滑り台であそぶ子どもたち（イメージ）



明るさの異なる空間で海の生き物を観察できる水槽

こどもの目線で生き物を観察できるエリア



写真：みなとやま水族館（兵庫県神戸市）

タッチングプールやエサやり体験等海の生き物を体感できるエリア



写真：エビとカニの水族館（和歌山県すさみ町）

親子で色んなうごきをしてあそべるエリア



写真：BOAT KIDS PARK モーヴィ とこなめ（愛知県常滑市）

全身を使ってあそべるエリア



写真：かがにこここパーク（石川県加賀市）

手に取ってあそびながら知育にもつながるエリア



写真：子どもを育む巣箱 ときなる（福井県福井市）

全身を使ってあそぶことができる遊具

小さな子どもが乗ったりくぐったりできる遊具



壁面を使ったブロックあそび

図 年齢に合わせて様々なあそびを楽しむ子どもたち（イメージ）

(7) 「屋外プレイエリア」リニューアル

◆「屋外プレイエリア」の整備コンセプト

～ココロとカラダを育むあそび場づくり～

◆整備の考え方

- ・豊かな自然の中で心と身体を育めるエリアとします。
- ・みんなで一緒にあそび、楽しめるエリアとします。
- ・子どもたちの声が届く位置に屋根付きベンチを配置し、安心してあそびを見守ることができるエリアとします。
- ・インクルーシブの視点を取り入れたエリアとします。

成長に合わせたあそびを楽しめる複合遊具



写真：(上) 豊川公園子ども広場 (愛知県豊川市)
(下) BOAT KIDS PARK モーヴィ とこなめ (愛知県常滑市)

みんなで楽しくカラダを育むことができる遊具を複合的に配置



屋外トイレを配置

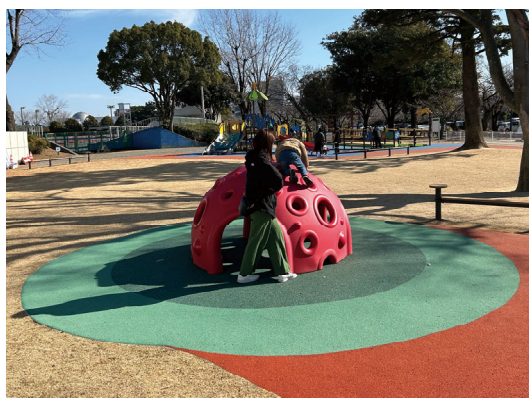
子どもを見守ることができるベンチを配置

安心して子どもを見守ることができるエリア



写真：(上) COMMUNITY PARK グルーン とこなめ (愛知県常滑市)
(下) 武生中央公園 (福井県越前市)

親子で一緒にあそべる遊具



写真：豊川公園子ども広場 (愛知県豊川市)

インクルーシブの視点を取り入れた遊具



写真：BOAT KIDS PARK モーヴィ とこなめ (愛知県常滑市)

全身を使って楽しむ遊具



写真：岡崎東公園 (愛知県岡崎市)



写真：岡崎東公園 (愛知県岡崎市)

子どもが利用しやすい屋外トイレ



写真：大島中央公園 (富山県射水市)